

コンクリート圧縮強度試験成績書

2026年 1月 2日

田川セメント工業所 殿

福岡県みやま市瀬高町河内1938-1
株式会社江崎千秋商店
瀬高生コン工場



工名	事称	自社二次製品									
打込箇所											
呼び方	コンクリートの種類による記号		呼び強度		スランプ 又はスランプ フロー cm		粗骨材の最大寸法 mm		セメントの種類による記号		
	普通		24		18		20		N		
指事	定項										
採取月日	試験月日	材齢(日)	番号	スランプ (cm)	空気量 (%)	温度 (℃)	最大荷重 (kN)	強度 (N/mm ²)	平均強度 (N/mm ²)	摘要	
12/26	1/ 2	7	1	19.0		12	164	20.9	21.3	標準養生	
			2				169	21.5			
			3				168	21.4			

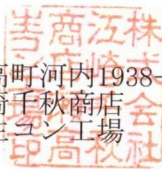
備考 $\sigma'_{28} = 1.4 \times \sigma'_7 + 1.3 = 31.1\text{N/mm}^2$ 供試体寸法 $\phi 100 \times 200$

コンクリート圧縮強度試験成績書

2026年 1月23日

田川セメント工業所 殿

福岡県みやま市瀬高町河内1938-1
株式会社江崎千秋商店
瀬高生コン工場



工名	事称	自社二次製品									
打込箇所											
呼 び 方		コンクリートの種類による記号		呼び強度		スラブ° 又はスラブ° フロー cm		粗骨材の最大寸法 mm		セメントの種類による記号	
		普通		24		18		20		N	
指 事	定 項										
採 取 月 日	試 験 月 日	材 齢 (日)	番 号	スラブ° (cm)	空気量 (%)	温度 (°C)	最大荷重 (kN)	強度 (N/mm ²)	平均強度 (N/mm ²)	摘 要	
12/26	1/23	28	1	19.0		12	253	32.2	31.9	標準養生	
			2				248	31.6			
			3				251	32.0			

備 考

供試体寸法 φ100×200

No. _____

2025年12月26日

江崎千秋商店
高生コン工場

備考

レディーミクストコンクリート配合計画書

No.

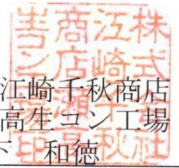
2025年 9月 6日

田川セメント工業所 殿

製造会社名：株式会社 江崎千秋商店

瀬高生コン工場

配合計画者名 木下 和徳



工 事 名 称 自社二次製品

所 在 地 久留米市荒木町今

納 入 予 定 時 期

本配合の適用期間 a) (標準配合)

コンクリートの打込み箇所

配 合 の 設 計 条 件

呼び方	コンクリートの種類による記号	呼び強度	スランプ 又はスランプ フロー cm	粗骨材の最大寸法 mm	セメントの種類による記号
	普通	24	18	20	N
指定事項 (必須)	セメントの種類	呼び方欄に記載		粗骨材の最大寸法	呼び方欄に記載
	骨材の種類	使用材料欄に記載		アルカリシリカ反応抑制対策の方法 b)	A —
指定事項 (任意)	骨材のアルカリシリカ反応性による区分	使用材料欄に記載		軽量コンクリートの単位容積質量	— kg/m ³
	舗装コンクリートの強度試験方法			コンクリートの温度	— °C
	水の種類	使用材料欄に記載		水セメント比及び又は水結合材比の目標値の上限	— %
	混和材料の種類及び使用量	使用材料及び配合表欄に記載		単位水量の目標値の上限	— kg/m ³
	塩化物含有量	0.30 kg/m ³ 以下		単位セメント量の目標値の下限又は目標値の上限	— kg/m ³
	呼び強度を保証する材齢	— 日		流動化後のスランプ又はスランプフローの増大量	— cm
	空気量	— %			

使 用 材 料 c)

セメント			生産者名		太平洋セメント株式会社		密度 g/cm ³		3.16		Na ₂ Oeq % d)		0.61	
混和材①		製品名	—		種類	—		密度 g/cm ³	—		Na ₂ Oeq % e)	—		
混和材②			—			—			—					
骨材	No.	種類	産地又は品名		アルカリ反応性による区分 f)		粒の大きさの範囲 g)	粗粒率又は実積率 h)	密度 g/cm ³		微粒分量の範囲% i)			
					区分 試験方法									
細	①	砕砂	熊本県和水町産		A 化学法		5以下	2.85	2.93	2.96	4.0±1.0			
骨	②	山砂	熊本県南関町産		A 化学法		—	2.70	2.52	2.56	3.0以下			
材	③	—	—		—		—	—	—	—	—			
粗	①	砕石1505	熊本県和水町産		A 化学法		15～5	—	3.01	3.02	0.5±0.5			
	②	砕石2010	熊本県和水町産		A 化学法		20～10	60.0	3.02	3.03	0.5±0.5			
骨	③	—	—		—		—	—	—	—	—			
材	④	—	—		—		—	—	—	—	—			
混和剤①		製品名	チューボールEX-50		種類	AE減水剤(標準形Ⅰ種)					Na ₂ Oeq % j)	1.9		
混和剤②			—			—								
混和剤③			—			—								
細骨材の塩化物量 k)			—		%水の種類 l)		回収水(上澄水)・地下水		目標スラッジ 固形分率 m)		— %			
回収骨材の使用使用方法 o)			細 骨 材		—		粗 骨 材		—		スラッジ 水の使用使用方法 n)		—	

配 合 表 p) kg/m³

セメント	混 和 材		水 q)	細 骨 材			粗 骨 材				混 和 剤 r)		
	①	②		①	②	③	①	②	③	④	①	②	③
342	—	—	181	460	459	—	502	501	—	—	3.42	—	—
水セメント比 s)		53 %		水結合材比 s)			— %		細 骨 材 率			50.2 %	
備考	骨材の質量配合割合r), 混和剤の使用量については、断りなしに変更する場合がある。						骨材混合比		細骨材①:②		50.0:50.0		
							(質量混合)		粗骨材①:②		50.0:50.0		

アルカリ総量の計算表 v)

アルカリ総量の計算		判定基準	計算及び判定
コンクリート中のセメントに含まれる全アルカリ量(kg/m ³) Rc $Rc = (\text{単位セメント量kg/m}^3) \times (\text{セメント中の全アルカリ量Na}_2\text{Oeq:\%}) / 100$	①=Rc 2.086	—	Rc = 342 × 0.61 / 100 = 2.086
コンクリート中の混和材に含まれる全アルカリ量(kg/m ³) Ra $Ra = (\text{単位混和材量kg/m}^3) \times (\text{混和材中の全アルカリ量:\%}) / 100$	②=Ra	—	
コンクリート中の骨材に含まれる全アルカリ量(kg/m ³) Rs $Rs = (\text{単位骨材量kg/m}^3) \times 0.53 \times (\text{骨材中のNaClの量:\%}) / 100$	③=Rs 0.000	—	$Rs1 = 460 \times 0.53 \times / 100 = 0.000$ $Rs2 = 459 \times 0.53 \times / 100 = 0.000$ $Rs = Rs1 + Rs2 = 0.000$
コンクリート中の混和剤に含まれる全アルカリ量(kg/m ³) Rm $Rm = (\text{単位混和剤量kg/m}^3) \times (\text{混和剤中の全アルカリ量:\%}) / 100$	④=Rm 0.065	—	Rm = 3.42 × 1.9 / 100 = 0.065
流動化剤を添加する場合は、 コンクリート中の流動化剤に含まれる全アルカリ量(kg/m ³) Rp w) $Rp = (\text{単位流動化剤量kg/m}^3) \times (\text{流動化剤中の全アルカリ量:\%}) / 100$	⑤=Rp	—	
コンクリート中の安定剤に含まれる全アルカリ量(kg/m ³) Rr x)	⑥=Rr	—	
コンクリート中のアルカリ総量(kg/m ³) Rt $Rt = ① + ② + ③ + ④ + ⑤ + ⑥$	Rt 2.151	3.0 kg/m ³ 以下	適

注 a) 本配合の適用期間に加え、標準配合、又は修正標準配合の別を記入する。

なお、標準配合とは、レディーミクストコンクリート工場で社内標準の基本にしている配合で、標準状態の運搬時間における標準期の配合として標準化されているものとする。

また、修正標準配合とは、出荷時のコンクリート温度が標準配合で想定した温度より大幅に相違する場合、運搬時間が標準状態から大幅に変化する場合、又は骨材の品質が所定の範囲を超えて変動する場合に修正を行ったものとする。ただし、新骨材の計量設定値の補正において、回収骨材をA方法で使用する場合は、混合割合の補正を行わなくてよい。

注 b) 表 JB.1 の記号欄の記載事項を、そのまま記入する。

注 c) 配合設計に用いた材料について記入する。

注 d) ポルトランドセメント及び普通エコセメントを使用した場合に記入する。JIS R 5210の全アルカリの値としては、直近6か月間の試験成績表に示されている、全アルカリの最大値の最も大きい値を記入する。

注 e) 最新版の混和材試験成績表の値を記入する。

注 f) アルカリシリカ反応性による区分、及び判定に用いた試験方法を記入する。あらかじめ混合した骨材について、混合された骨材のアルカリシリカ反応性の区分及び又は判定に用いた試験方法が異なる場合には、それぞれの骨材について記入する。

注 g) 細骨材に対しては、砕砂、スラグ細骨材、人工軽量細骨材、及び再生細骨材Hでは粒の大きさの範囲を記入する。粗骨材に対しては、碎石、スラグ粗骨材、人工軽量粗骨材、及び再生粗骨材Hでは粒の大きさの範囲を、砂利では最大寸法を記入する。

注 h) 細骨材に対しては、粗粒率の値を、粗骨材に対しては、実積率又は粗粒率の値を記入する。

注 i) 碎石、砕砂及びスラグ骨材を使用する場合に記入する。

注 j) 最新版の混和剤試験成績表の値を記入する。

注 k) 最新版の骨材試験成績表の値 (NaClとして) を記入する。

注 l) 回収水のうち上澄み水を使用する場合は“回収水 (上澄み水)”，スラッジ水を使用する場合は，“回収水 (スラッジ水)”と記入する。

注 m) スラッジ水を使用する場合に記入する。目標スラッジ固形分率とは、配合設計したスラッジ固形分率の目標値であり、目標スラッジ固形分率の上限が1%未満の場合は“1%未満”，上限が3%以下の場合は“3%以下”，上限が6%以下の場合は“6%以下”と記入する。

注 n) スラッジ水の使用方法を記入する。安定剤を用いない場合は“A方法”，安定剤を用いる場合は“B方法”と記入する。

注 o) 回収骨材の使用方を記入する。目標回収骨材置換率の上限が5%以下の場合は“A方法”，20%以下の場合は“B方法”と記入する。

注 p) 人工軽量骨材の場合は、絶対乾燥状態の質量で、その他の骨材の場合は表面乾燥飽水状態の質量で表す。

注 q) コンクリートの容積にスラッジ固形分を含める場合、水の単位量は“水の質量”と“固形分の質量”とに分けて記入する (水の単位量の記載例: 180+18)。

注 r) 空気量調整剤は、記入する必要はない。

注 s) セメントだけを使用した場合は、水セメント比を記入する。高炉スラグ微粉末、フライアッシュ、シリカフェーム又は膨脹材を結合材として使用した場合は、水結合材比だけを記入するか、又は水結合材比及び水セメント比の両方を記入する。

注 t) 全骨材の質量に対する各骨材の計量設定割合をいう。

注 u) 9.5 b) の運搬時間の限度を変更した場合に記入する。

注 v) コンクリート中のアルカリ総量を規制する抑制対策の方法を講じる場合にだけ記入する。

注 w) 購入者から通知を受けたアルカリ量を用いて計算する。

注 x) 安定化スラッジ水の作製に用いた場合の全アルカリ量はJE.8.2によって求めた値を、付着モルタルのスラリー化に使用した場合の全アルカリ量はJF.6.2によって求めた値を記入する。

配合計算書

配 合 の 設 計 条 件					
呼び方	コンクリートの種類による記号	呼び強度	スラブ 又はスラブ フロー	粗骨材の最大寸法	セメントの種類による記号
	普通	24	cm 18	mm 20	N
指定事項					
(1)標準偏差(σ) 当工場の実績により $\sigma = 2.94 \text{ N/mm}^2$					
(2)配合強度(m) $m = 0.85 \cdot S_L + 3 \cdot \sigma = 29.2 \text{ N/mm}^2$ $m = S_L + 1.73 \cdot \sigma = 29.1 \text{ N/mm}^2$					
よって $m = 29.2 \text{ N/mm}^2$					
(3)水セメント比(W/C) $m = -23 + 28.1 \times C/W$ $W/C = 28.1 \div (29.2 + 23) \times 100 = 53 \%$					
W/C = 53 %					
(4)単位水量(W) 当工場の実績により $W = 181 \text{ kg/m}^3$					
(5)単位セメント量(C) $C = W \div (W/C) \times 100 = 181 \div 53 \times 100 = 342 \text{ kg/m}^3$					
$C_v = C \div \text{密度} = 342 \div 3.16 = 108 \text{ } \ell/\text{m}^3$					
(6)空気量(A) $A = 4.5 \% \times 1000 = 45 \text{ } \ell/\text{m}^3$					
(7)単位粗骨材量(G) 当工場の実績により かさ容積 = $0.554 \text{ m}^3/\text{m}^3$ 実積率 = 60.0 %					
$G_v = 0.554 \times 1000 \times 60.0 \div 100 = 332 \text{ } \ell/\text{m}^3$					
$G = G_v \times \text{表乾密度} = 332 \times 3.02 = 1003 \text{ kg/m}^3$					
$G1 = G \times 50.0 \% = 502 \text{ kg/m}^3$					
$G2 = G \times 50.0 \% = 501 \text{ kg/m}^3$					
(8)単位細骨材量(S) $S_v = 1000 - (W + C_v + G_v + A) = 1000 - 666 = 334 \text{ } \ell/\text{m}^3$					
$S = S_v \times \text{表乾密度} = 334 \times 2.75 = 919 \text{ kg/m}^3$					
$S1 = S \times 50.0 \% = 460 \text{ kg/m}^3$					
$S2 = S \times 50.0 \% = 459 \text{ kg/m}^3$					
(9)細骨材率(s/a) $s/a = S_v \div (G_v + S_v) \times 100 = 50.2 \%$					
(10)単位混和剤量(Ad) $Ad = C \times \text{添加率} \times \text{密度} = 342 \times 1.000 \% \times 1.00 = 3.42 \text{ kg/m}^3$					

配 合 表 kg/m^3												
セメント	混 和 材		水	細 骨 材			粗 骨 材				混 和 剤	
	①	②		①	②	③	①	②	③	④	①	②
342	—	—	181	460	459	—	502	501	—	—	3.42	—
水セメント比	53 %		細 骨 材 率	50.2 %		骨材混合比 (質量混合)	細骨材①:②		50.0:50.0			
備考							粗骨材①:②		50.0:50.0			

■ 骨材試験成績書 ■

2025年 12月度

福岡県みやま市瀬高町河内1938-1

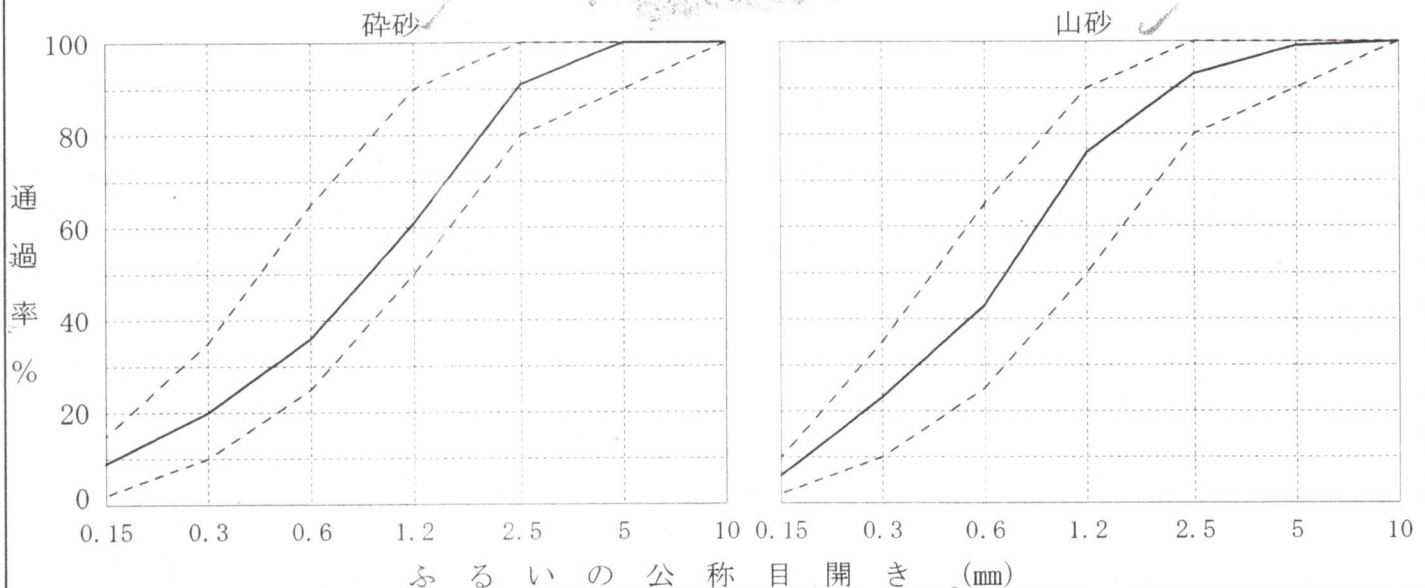
株式会社江崎千秋商店

瀬高生コン工場

	産地品名	骨材名称	検印欄	
骨材①	熊本県和水町産	砕砂	承認	担当
骨材②	熊本県南関町産	山砂		
骨材③				
骨材④				

試験項目	骨材①	骨材②	骨材③	骨材④	ふるい分け試験 (通過率%)				
最大寸法(mm)	5以下	-			ふるい(mm)	砕砂	山砂		
表乾密度 (g/cm ³)	2.98	2.56			150				
絶乾密度 (g/cm ³)	2.95	2.51			100				
吸水率 (%)	1.17	2.08			80				
微粒分量 (%)	3.9	1.2			60				
粘土塊量 (%)	-	0.24			50				
粒形判定実積率 (%)	54.7	-			40				
有機不純物 (標準色よりも)	-	淡い			30				
塩化物量 (%)	-	0.001			25				
安定性 (%)	0.7	2.0			20				
密度1.95に浮く粒子 (%)	-	-			15				
すりへり減量 (%)	-	-			10	100	100		
軟らかい石片 (%)	-	-			5	100	99		
					2.5	91	93		
					1.2	61	76		
					0.6	36	43		
					0.3	20	23		
					0.15	9	6		
					粗粒率	2.83	2.60		

粒度曲線



備考:

有機不純物、塩化物量、安定性試験は、1回以上/1年の結果である。

セメント試験成績表



太平洋セメント株式会社

2025 年(令和 7 年) 12 月度

種 類 品 質		普通ポルトランドセメント JIS R 5210				早強ポルトランドセメント JIS R 5210				高 炉 セ メ ン ト B 種 JIS R 5211			
		J I S 規格値	試 験 成 績			J I S 規格値	試 験 成 績			J I S 規格値	試 験 成 績		
			平均値	標準偏差	最大値 (最小値)		平均値	標準偏差	最大値 (最小値)		平均値	標準偏差	最大値 (最小値)
密 度 g/cm³		—	3.16	—	—	—	3.14	—	—	—	3.04	—	—
比 表 面 積 cm²/g		2500 以上	3420	59	—	3300 以上	4500	57	—	3000 以上	3920	61	—
凝 結	水 量 %	—	27.4	—	—	—	29.6	—	—	—	28.6	—	—
	始 発 h-min	60min 以上	2-34	—	(1-35)	45min 以上	1-53	—	(1-15)	60min 以上	3-32	—	(2-20)
	終 結 h-min	10h 以下	3-34	—	4-10	10h 以下	2-49	—	3-30	10h 以下	4-38	—	5-45
安 定 性	パ ッ ト 法	良	良	—	—	良	良	—	—	良	良	—	—
圧 縮 強 さ N/mm²	1 d	—	—	—	—	10.0 以上	23.2	0.84	—	—	—	—	—
	3 d	12.5 以上	31.0	1.18	—	20.0 以上	46.8	0.98	—	10.0 以上	20.0	0.85	—
	7 d	22.5 以上	46.3	1.45	—	32.5 以上	58.5	0.93	—	17.5 以上	33.8	1.08	—
	28d	42.5 以上	60.5	1.66	—	47.5 以上	70.9	1.04	—	42.5 以上	60.6	1.49	—
水 和 熱 J/g	7 d	—	340	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	28d	—	391	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
化 学 成 分 %	酸化マグネシウム	5.0 以下	1.45	—	1.76	5.0 以下	1.53	—	1.63	6.0 以下	3.31	—	3.61
	三 酸 化 硫 黄	3.5 以下	2.11	—	2.72	3.5 以下	2.95	—	3.25	4.0 以下	2.18	—	2.32
	強 熱 減 量	5.0 以下	2.43	—	2.68	5.0 以下	1.34	—	1.41	5.0 以下	1.85	—	2.23
	全 アル カ リ	0.75 以下	0.47	—	0.61	0.75 以下	0.41	—	0.61	—	—	—	—
	塩化物イオン	0.035 以下	0.018	—	0.029	0.02 以下	0.005	—	0.007	—	0.017	—	—
備 考													
試験方法はJIS R 5201、JIS R 5202、JIS R 5203及びJIS R 5204による。 28 d 圧縮強さ及び28 d 水和熱は前月度の値を示す。													
全アルカリの最大値のうち直近6ヶ月の最大の値													
普通ポルトランドセメント 0.62 %													
早強ポルトランドセメント 0.64 %													
高炉セメントB種													
ベースセメントの全アルカリ 0.47 %													
高炉スラグの分量 40～45 %													

お問い合わせその他のご連絡先

太平洋セメント株式会社 九州支店 技術部

☎812-0018 福岡市博多区住吉1-2-25

キャナルシティビジネスセンタービル

☎ 092-263-8460

〒 835-0014 (720000)

福岡県みやま市瀬高町河内193

8-1

(株)江崎千秋商店 瀬高生コン工場

御中

種 類 AE減水剤 標準形 (1種)

商品名 チューボールEX50

〒443-86

竹本

油脂



2番5号

会社

118

1. コンクリートの試験結果

項 目		JIS A 6204による規定値	形式評価試験値	性能確認試験値
フレッシュコンクリート	減 水 率 %	10以上	18	18
	ブリーディング量の比 %	70以下	53	—
	ブリーディング量の差 cm/cm	—	—	—
	凝結時間の差 分	始 発	+20	+10
		終 結	+10	+10
硬化コンクリート	経時変化量	スランピング	—	—
		空気量 %	—	—
	圧 縮 強 度 比 %	材 齢 1 日	—	—
		材 齢 2 日 (5℃)	—	—
		材 齢 7 日	110以上	119
		材 齢 28 日	110以上	114
	長 さ 変 化 比 %	120以下	98	—
	凍結融解に対する抵抗性 (相対動弾性係数 %)	60以上	93	—

注記1 1m当たりの化学混和剤の使用量 形式評価試験 0.75 kg/m³ 性能確認試験 0.75 kg/m³

注記2 性能確認試験は6か月ごとに1回実施し、この表に表示している試験値は、2025年2月の試験結果である。

ただし、圧縮強度の性能確認試験は1年に1回実施し、この表に表示している試験値は、2024年9月の試験結果である。

注記3 この表に表示している形式評価試験は、2024年4月に竹本油脂株式会社で実施した試験結果である。

2. 塩化物イオン (Cl⁻) 量及び全アルカリ量

項 目	JIS A 6204 による規定値	形式評価試験値	性能確認試験		
			化学混和剤中の 含有量	1m当たりの 化学混和剤の使用量	試 験 値
塩化物イオン (Cl ⁻) 量	0.02 kg/m ³ 以下	0.00 kg/m ³	0.00%	0.75 kg/m ³	0.00 kg/m ³
全アルカリ量	0.30 kg/m ³ 以下	0.01 kg/m ³	1.5%	0.75 kg/m ³	0.01 kg/m ³

注記1 性能確認試験は6か月ごとに1回実施し、この表に表示している試験値は、2025年2月の試験結果である。

注記2 この表に表示している形式評価試験は、2024年4月に竹本油脂株式会社で実施した試験結果である。

3. チューボールEX50 (43%溶液) の品質

化学混和剤中の含有量		密度 (g/cm ³ 20℃)	
塩化物イオン (Cl ⁻) 量	全アルカリ量	規 格 値	試 験 値
0.00 %	0.6 %	1.03 ~ 1.05	1.038

注 記 この表に表示している試験値は、2025年2月の試験結果である。

承認

担当



合格

練混ぜに用いる水質試験報告書

試験番号 NSW255053

2025年06月16日

長崎県生コンクリート工業組合

島原南高技術センター

(全生工組連第43号認定共同試験場)

長崎県南島原市深江町1638番地4

承認署名 喜屋 純一



株式会社 江崎千秋商店

1.顧客の名称

瀬高生コン工場

殿

及び住所

福岡県みやま市瀬高町河内1938-1

2.試験方法

JIS A 5308 : 2024 附属書JCによる

全国生コンクリート工業組合連合会の認定試験項目

3.試料の

2025年05月12日

(依頼者持込)

受領日

試験年月日			2025年05月16日 ~ 2025年06月13日	
試料	試験水の種類 (*)		地下水	
	採取年月日 (*)		2025年05月09日	
	採取場所 (*)		福岡県みやま市瀬高町河内1938-1 瀬高生コン工場内	
懸濁物質の量 (g/L)		0.0	JIS規格値 2 g/L 以下	
溶解性蒸発残留物の量 (g/L)		0.5	JIS規格値 1g/L以下	
塩化物イオン(Cl-)量 (mg/L)		100.8	JIS規格値 200mg/L以下	
凝結時間の差	種類		基準水	地下水
	始発時間		2 時間 50 分	2 時間 45 分
	始発時間の差		5 分	
	終結時間		3 時間 40 分	3 時間 35 分
	終結時間の差		5 分	
	規格値		始発は30分以内、終結は60分以内	
圧縮強さの比 (A法)	7 日	圧縮強さ	48.6 N/mm ²	47.2 N/mm ²
		圧縮強さの比	97 %	
	28 日	圧縮強さ	63.2 N/mm ²	61.3 N/mm ²
		圧縮強さの比	97 %	
	規格値		材齢7日及び材齢28日で 90 %以上	
備考	試験の実施場所 長崎県生コンクリート工業組合 島原南高技術センター内 試験室			

a. 本報告書は、記載の試料についてのみに関する試験結果です。

b. この報告書のカラーコピー及び一部分のみを複製して使用することを禁じます。

c. (*)は、顧客の提出資料によるものです。

承認

担当



練混ぜに用いる水質試験報告書

試験番号 NSW255052

2025年06月16日

長崎県生コンクリート工業組合

島原南高技術センター

(全生工組連第43号認定共同試験場)

長崎県南島原市深江町成638番地4

承認者 新妻 純一

株式会社 江崎千秋商店

1.顧客の名称

瀬高生コン工場

殿

及び住所

福岡県みやま市瀬高町河内1938-1

2.試験方法

JIS A 5308 : 2024 附属書JCによる
全国生コンクリート工業組合連合会の認定試験項目

3.試料の

2025年05月12日

(依頼者持込)

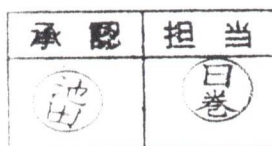
受領日

試験年月日			2025年05月16日 ~ 2025年06月13日	
試料	試験水の種類 (*)		回収水(上澄み水)	
	採取年月日 (*)		2025年05月09日	
	採取場所 (*)		福岡県みやま市瀬高町河内1938-1 瀬高生コン工場内	
懸濁物質の量 (g/L)		----	----	
溶解性蒸発残留物の量 (g/L)		----	----	
塩化物イオン(Cl ⁻)量 (mg/L)		38.9✓	JIS規格値 200mg/L以下✓	
凝結時間の差	種類		基準水	回収水(上澄み水)
	始発時間		2時間 50分	2時間 50分
	始発時間の差		0分	
	終結時間		3時間 40分	3時間 35分
	終結時間の差		5分	
	規格値		始発は30分以内、終結は60分以内	
圧縮強さの比 (A法)	7日	圧縮強さ	48.6 N/mm ²	47.5 N/mm ²
		圧縮強さの比	98%	
	28日	圧縮強さ	63.2 N/mm ²	61.4 N/mm ²
		圧縮強さの比	97%	
	規格値		材齢7日及び材齢28日で 90%以上	
備考 試験の実施場所 長崎県生コンクリート工業組合 島原南高技術センター内 試験室				

a. 本報告書は、記載の試料についてのみに関する試験結果です。

b. この報告書のカラーコピー及び一部分のみを複製して使用することを禁じます。

c. (*)は、顧客の提出資料によるものです。



合格



発行年月日	2025年10月1日
受付年月日	2025年2月28日
受付番号	B2502069

骨材のアルカリシリカ反応性試験結果報告書

(ISO/IEC17025 登録試験所)

麻生商事株式会社
建設コンサルティング部
部長 岩 慎二



三加和鉱山株式会社 三加和工場 御中

試験結果を以下に報告します(※は依頼者より提供された情報です)。

試験の名称		骨材のアルカリシリカ反応性試験(モルタルバー法)					
件名		品質管理試験					
依頼者	会社名	三加和鉱山株式会社 三加和工場					
	所在地	熊本県玉名郡和水町上十町字山下1202番地の1					
試験材料※	種類	碎石・砕砂(はんれい岩) 碎石2005(代表試料)					
	産地	熊本県玉名郡和水町上十町字山下1202番地の1					
	採取場所	熊本県玉名郡和水町					
	採取者	叶 伸也					
	採取日	2025年2月25日					
試験実施期間		2025年3月27日 ~ 2025年9月25日					
試験方法		JIS A 1146「骨材のアルカリシリカ反応性試験方法(モルタルバー法)」に従った。					
セメントの全アルカリ		K ₂ O (%)	0.38	モルタル作製時のセメントには、(一社)セメント協会 研究所にて全アルカリを確認された、アルカリシリカ反応性試験用セメントを用い、NaOH水溶液によりセメントの全アルカリがNa ₂ Oeqで1.2%となるように調整した。			
		Na ₂ O (%)	0.27				
		全アルカリ(%)	0.52				
湿度95%以上を確保した手段		恒温槽内にて、供試体表面を吸取紙にて被覆し、槽内底面に水張りを行った。					
試験結果	膨張率 (%)	材齢	2週	4週	8週	13週	26週
		供試体1	0.008	0.011	0.014	0.015	0.016
		供試体2	0.007	0.011	0.014	0.014	0.015
		供試体3	0.009	0.013	0.015	0.016	0.016
		平均値	0.008	0.012	0.014	0.015	0.016
		精度	満たす	満たす	満たす	満たす	満たす
	供試体の外観観察	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	
判定結果	判定基準					判定	
	無害 : 3本の平均膨張率が、26週後に0.100%未満の場合 無害でない : 3本の平均膨張率が、26週後に0.100%以上の場合、または、材齢13週で0.050%以上の膨張を示した場合					無害	
特記事項							
試験場所		麻生商事株式会社 建設コンサルティング部 物理試験室 粉碎室 骨材試験室 福岡県糟屋郡粕屋町大字仲原2648番地 TEL(092)624-1305 FAX(092)624-1308					
試験担当者		技術管理責任者		江 渕 充 信			
		試験担当者		張 安 穎			

注記) 本試験結果報告書の取り扱いについて
1 本報告書を第三者に開示する場合は、必ず全文を複製するものとし、一部の複製は行わないで下さい。
2 本報告書の試験結果の一部を当該試験所の名称を添付してカタログ等に記載する場合は、事前に文書により当該試験所の承認を得るようして下さい。
3 本報告書の試験結果は、本報告書に記載の依頼者より提供された試料について得られたものです。

骨材のアルカリシリカ反応性試験(化学法)報告書

試験番号: NSK 250055-1

発行日: 2025年08月27日

株式会社 熊本硅砂鉱業

殿

熊本県玉名郡南関町大字下坂下4777

長崎県生コンクリート工業組合

島原南高技術センター

(全生工組連第43号認定共同試験場)

長崎県南島原市深江町成638番地4

承認署名者 所長 白倉 純一



ご依頼の試料に対する試験結果を下記の通り報告します。

- (1) 試験年月日 2025年08月26日
(2) 骨材の種類(*) 山砂(洗砂)
(3) 産地(*) 熊本県玉名郡南関町大字下坂下
(4) 採取場所(*) 熊本県玉名郡南関町大字下坂下
(5) 採取年月日(*) 2025年08月01日
(6) 試料の受領日 2025年08月04日 (依頼者持込み)
(7) 試験規格 JIS A 1145:2022 による。
全国生コンクリート工業組合連合会の認定試験項目

(8) 試験結果

(単位 : mmol/L)

測定項目 \ 実験数	1	2	3	平均値
アルカリ濃度減少量 (Rc)	69	71	70	70
溶解シリカ量 (Sc) (吸光光度法)	34	33	33	33

- (9) 判定基準 : 判定は、測定項目における試験結果の平均値を用いて行い、次による。
a) 溶解シリカ(Sc)が10mmol/L以上で、アルカリ濃度減少量(Rc)が700mmol/L未満の範囲
 $Sc < Rc$: 無害 $Sc \geq Rc$: 無害でない
b) 溶解シリカ(Sc)が10mmol/L未満で、アルカリ濃度減少量(Rc)が700mmol/L未満の範囲
無害
c) アルカリ濃度減少量(Rc)が700mmol/L以上の範囲
判定しない(判定適用範囲外)

(10) 判定 無害

備考

担当者氏名 橋本 潤一郎

試験の実施場所 長崎県生コンクリート工業組合 島原南高技術センター内 試験室



合格

- a. 本報告書は、記載の試料についてのみに関する試験結果です。
b. この報告書のカラーコピー及び一部分のみを複製して使用することを禁じます。
c. (*)は、顧客の提出資料によるものです。

JISマーク表示制度

認 証 書

認証番号： GB0807279

株式会社江崎千秋商店
福岡県柳川市三橋町柳河 728 番地の 1

産業標準化法第 30 条第 1 項の規定に基づき、下記の鉱工業品が主務省令及び日本産業規格に適合していることを認証します。

記

1. 鉱工業品の名称 : レディーミクストコンクリート
2. JIS の番号及び名称 : JIS A 5308 レディーミクストコンクリート
3. 認証の区分 : 普通コンクリート・舗装コンクリート
4. 製品の種類又は等級 : 認証書別紙による
5. 工場の名称及び所在地 : 株式会社江崎千秋商店 瀬高生コン工場
福岡県みやま市瀬高町河内 1938-1

認 証 日 : 2008 年 3 月 12 日

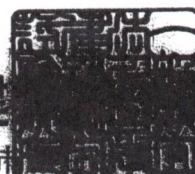
再発行日 : 2024 年 11 月 11 日



一般財団法人

日本建築

大阪府吹田市



試験所

118番1号

理事長

川瀬



認証番号 : GB0807279
 認証日 : 2008年3月12日
 再発行日 : 2024年11月11日

認証に係る製品の種類又は等級

表1 認証に係る製品の種類

種類	粗骨材の 最大寸法 (mm)	スランプ (cm)	呼び強度										
			18	21	24	27	30	33	36	40	42	45	曲げ 4.5
普通 コンクリート	20	8、12、15、18	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
		21	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	40	5、8、12、15	○	○	○	○	○	—	—	—	—	—	—
舗装 コンクリート	20、40	2.5、6.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○

註：「○」を付した製品が認証対象であることを示す。



登録証

コンクリート技士

合格番号 15180650

登録番号 12407598

氏名 木下 和徳

登録日 2024年4月1日

生年月日 1969年1月24日

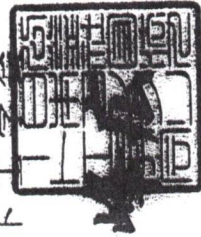
有効期限 2028年3月31日

本学会コンクリート技士制度規則にもとづき上記のとおり
コンクリート技士として登録したことを証します。

公益社団法人

日本コンクリート工学会

会長 西山



第06G16号

品質管理監査合格証

株式会社江崎千秋商店
瀬高生コン工場 殿

貴工場は福岡県生コンクリート品質管理監査
会議が令和6年度に実施した立入監査の結果
全国統一品質管理監査基準に適合しているもの
と判定されたのでここに合格証を交付する

記

有効期間 自 令和7年4月 1日
至 令和8年3月31日

令和6年12月9日

福岡県生コンクリート品質管理監査会議

議長 濱田 秀典

